

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	楽学喜サポートanemonemihama		
○保護者評価実施期間	令和 7年 2月 15日 ～ 令和 7年 3月 31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 7名
○従業者評価実施期間	令和 7年 3月 15日 ～ 令和 7年 4月 30日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7年 5月 27日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・活動プログラムが固定化しないように工夫されているか	・季節（天気）、休日、長期休業、年間に合わせた活動、特に五感を感じ味わえる設定をどう取り入れていくか皆で話し合い組み立てている	・地域の行事にも目を向けていく、経験の中で育てていく意識を持つ
2	日頃から子供の状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	・日々の活動を引継ぎの際又は、写真やLINEを通じて保護者と共有することで共通理解に繋がっている。 ・モニタリング等で写真、書面にて報告する事で課題に対しての振り返りを行い、職員で共通理解に繋げていく。	親子プログラム等の中で児童の成長、状況を見てもらう機会を設けていきたい
3	定期的に、家族からの子育ての悩みに対する相談に応じ面談や必要な助言を行っているか	・ゆんたく会を都度行い、保護者の情報交換場を設けています。 ・面談が行えない場合は、電話をするなどanemone側から積極的に行っています。	・ゆんたく会を行い、保護者の情報交換場を設けていきます。 ・面談が行えない場合は、電話をするなどanemone側から積極的に行います。 ・引き続き、送迎やモニタリングを通して保護者の方の気持ちに寄り添えるようにしていきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	安全確保に関して、安全計画書の保護者への周知について	・対策委員会を設け、開催しているが保護者の方へ周知不足であった ・保護者と連携について保護者会の開催の必要性がある	・日頃、公園の外出の際は職員と安全確保について確認しておくようにする ・訓練をした際は、保護者にも周知しその後は連携できるように配布していく
2	非常時の対応、マニュアルについて家族への周知が出来ていない	・対策委員会を設け、5月より会を開催している為、保護者の方へ周知不足であった	・訓練をした際はお手紙にしたり、保護者にはLINEを活用し周知の必要性がある
3	保育園、幼稚園の交流の機会が少ない	・午前中の児童館の活用はあるが、地域で他の行事の活用ができていない。	・交流が図られるよう、児童館や保育園、幼稚園と情報をとっていくようにする。 ・anemoneの行事を発信することで知ってもらう事も大切にしていく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名

楽学喜サポートanemone mihama

公表日 令和 7年 5月 30日

利用児童数 8名

回収数 7名

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環 境 ・ 体 制 整 備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	7					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	7					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	7					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	7					
適 切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	7					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	4			3	支援プログラムを確認できていないです。	ホームページに載せている旨や内容を周知していきます。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	7					
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	5			2	ガイドラインの内容がわかりません。	ガイドラインの内容が分かるようにサイトなどを活用し周知していきます。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	7					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	7					
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	4			3		
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	7					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	7					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6			1	ペアトレ受けました。他のママさんとの交流も出来、良かったです。	これからも保護者向けの研修があれば案内をかけていきたいと思います。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	7				日々の連絡ノート以外にも、口頭で伝えてくれるでその都度相談などもしやすいです。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	7					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	7					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	1	0	1	通い始めて間もないのでまだわかりません。	
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	7					
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	7					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	7					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	7					
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	6			1		作成はしてますが保護者に対し周知、説明は不足であったのでマニュアルを周知していきます。訓練はその都度保護者にお知らせしていきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	7					
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	7					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	7					
満 足 度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	7					
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	6			1	まだ、意思の疎通がそんなに取れないため、気持ちがいけないが、帰宅の際の表情は充実した様子です。/初日だけ泣きましたが、それ以来は泣かず通所しています。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	7				寄り添ってくれ、子どもだけでなく、母も支えてもらっているような気持ちです。/先生一人一人がとても親切です。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		楽学喜サポートanemonemihama			公表日	令和 7年 5月 30日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	3	バリアフリー化については整備されていないかもと感じる。/トイレは建物の構造上、バリアフリーになってはいないが、台などを準備し子どもができるだけ使いやすいように工夫している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8			
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8		朝のミーティング、週に一回は職員会議をし皆が参加できるようにしている	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		回覧し皆で振り返りを設けている	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	4		評価委員を設けてはいるが、会をもってはいない現状があるので検討していきたい
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		研修には積極的に参加してもらっている	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	1		作成はしているが周知不足の為、これから確認していきます。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5	3		個別支援会議を持つ時間が足りていないと感じる。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	3		職員会議で確認していきたいと思います。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	3		職員会議で確認していきたいと思います。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	3		標準化行動観察のツールの活用ではなく行動観察で状況を確認している事が多い
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8			

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8			モニタリングの時間を確保するのが難しいときがある。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	2		地域との連携が課題だと感じる。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	1		
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	3	5		聴覚の児童に関する研修を受け、センターのアドバイスを受けているが職員が把握していないので周知が必要である
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	6		以前は午前中の時間を活用し行っていたが、最近はできていない。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8			
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8			
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	1	送迎時に話したり、必要な時に応じて電話をかけて相談にのったり行っている	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8		ゆんたく会の実施。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8		連絡帳や公式LINEの活用。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	2		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	2		作成はしているが、委員会を設け定期的な会の開催と職員に対し周知をしています。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		・法人研修の中で話し合いを行っている。 ・年に3回は訓練を行っている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8			
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	3		食物アレルギーの児童は現在利用していないため行っていない。/対象の児童がいない。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	3		どのような内容が必要なのか把握できていない。/作成はしているが職員に周知がされていないので職員会議を設け周知していく
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	5		どこまで保護者が確認しているのか把握できていない。/取り組み内容を周知していくようにしていく
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。		8	対象児童がいない	これから了解を得て記載する予定。/これから保護者に十分に説明し、全員の保護者から了解を得て承諾書面をもらう予定。/現在は対象児童はいない。